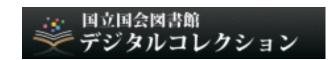
# 国立国会図書館憲政資料室 2019/3/11目録作成

この資料は国立国会図書館デジタルコレクションで公開しています <a href="http://dl.ndl.go.jp">http://dl.ndl.go.jp</a>



目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています 国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」 http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/

リサーチ・ナビ

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
1	開国起原									
<u>1-1</u>	開国起原	壱	勝海舟		明治24年4月10日	米国政府之決議	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-2	開国起原	<u></u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	米国使節渡来 上	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-3</u>	開国起原	11	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	米国使節渡来 下	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-4</u>	開国起原	<u>m</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	魯国使節船渡来 上	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-5</u>	開国起原	<u>五</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	魯国使節船渡来 中	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-6</u>	開国起原	六	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	魯国使節船渡来 下	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-7</u>	開国起原	七	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	米国官吏出府 一	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-8</u>	開国起原	八	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	米国官吏出府 二	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
1-9	開国起原	九	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	米国官吏出府 三	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
1-10	開国起原	土	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	米国官吏出府 四	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
<u>1-11</u>	開国起原	<u>+-</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	米国官吏出府 五	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-12</u>	開国起原	<u>+=</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	米国官吏出府 六	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-13</u>	開国起原	<u>+=</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	開港場止宿及貨幣之談 判 上	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-14</u>	<u>開国起原</u>	土四	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	開港場止宿及貨幣之談 判 下	墨書	海舟書屋 用箋		1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>1-15</u>	開国起原	<u>十五</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	沿海測量之請願	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
<u>1-16</u>	開国起原	<u>十六</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	支那騒乱之概況	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
<u>1-17</u>	開国起原	<u>+七</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	軍艦購入之周旋	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-18	開国起原	<u>十八</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	各国条約 一	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-19	開国起原	<u>十九</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	各国条約 二	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-20	開国起原	二土	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	各国条約 三	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-21	開国起原	<u> </u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	各国条約 四	墨書	海舟書屋 用箋		1₩
1-22	開国起原	二十二	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	外国人殺傷事件 上	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-23	開国起原	二十三	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	外国人殺傷事件 下	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-24	開国起原	二十四	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	各国公使交代幷祝砲	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
<u>1-25</u>	開国起原	二十五	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	両都両港延期	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-26	開国起原	二十六	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	北地定界之談判 上	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-27	開国起原	二十七・二十八(表紙は 二十七巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	北地定界之談判 中・下	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-28	<u>開国起原</u>	二十九・三十(表紙は二 十八巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	対州魯人上陸之件 上・ 中	墨書	海舟書屋 用箋		1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
1-29	開国起原	<u>三十一(表紙は二十九</u> <u>巻)</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	対州魯人上陸之件 下	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
1-30	開国起原	<u>三十二・三十三(表紙は</u> <u>三十巻)</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	外国人居留地之制 上・ 下(附、犯罪人召捕之 件)	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-31</u>	開国起原	<u>三十四・三十五(表紙は</u> <u>三十一巻)</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	天保年間邦内之形勢 上·下	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-32	開国起原	三十六(表紙は三十二巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	弘化嘉永年間邦内之形 勢	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-33	開国起原	三十七(表紙は三十三 巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	嘉永年間邦内之形勢	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-34</u>	開国起原	三十八・三十九(表紙は 三十四巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	安政年間邦内之形勢 上·下	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
1-35	開国起原	四十(表紙は三十五巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	安政万延年間邦内之形 勢	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-36</u>	開国起原	四十一(表紙は三十六 巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	文久年間邦内之形勢	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
<u>1-37</u>	開国起原	四十二(表紙は三十七 巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	文久年間邦内之形勢	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
1-38	開国起原	四十三・四十四(表紙は 三十八巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	文久年間邦内之形勢 三·四	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
1-39	開国起原	四十五(表紙は三十九 巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	元治年間邦内之形勢 上	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
<u>1-40</u>	開国起原	四十六・四十七(表紙は 四十巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	元治年間邦内之形勢 下·慶應年間邦内之形 勢 一	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
1-41	開国起原	四十八・四十九(表紙は 四十一巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	慶応年間邦内之形勢 二·三	墨書	海舟書屋 用箋		1∰
1-42	<u>開国起原</u>	五十(表紙は四十二巻)	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	慶応年間邦内之形勢 四	墨書	海舟書屋 用箋		1∰

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
1-43	開国起原	<u>附録 全</u>	〔勝海舟〕		〔明治24年4月10 日〕	職名録	墨書	海舟書屋 用箋		1冊
<u>2</u>	陸軍歴史									
<u>2-1</u>	<u>陸軍歴史</u>	_	勝海舟		明治22年	陸軍創立之端緒 一	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-2</u>	<u>陸軍歴史</u>	<u>-</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	陸軍創立之端緒 二	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-3</u>	<u>陸軍歴史</u>	=	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	陸軍創立之端緒 三	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
<u>2-4</u>	<u>陸軍歴史</u>	<u>m</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	陸軍創立之端緒 四	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
<u>2-5</u>	陸軍歴史	<u>五</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	砲銃鋳造 一	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-6</u>	陸軍歴史	六	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	砲銃鋳造 二	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-7</u>	陸軍歴史	七	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	砲銃鋳造 三	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1₩
<u>2-8</u>	陸軍歴史	<u>/</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	砲銃鋳造 四	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
<u>2-9</u>	陸軍歴史	九	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	砲銃鋳造 五	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-10</u>	陸軍歴史	<u>-0</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	砲台築造 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1₩
2-11	陸軍歴史		〔勝海舟〕		〔明治22年〕	砲台築造 中	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-12</u>	陸軍歴史	<u>-=</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	砲台築造 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1₩
<u>2-13</u>	陸軍歴史	<u>-=</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	沿海警備 一	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>2-14</u>	陸軍歴史	<u>一</u> 厄	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	沿海警備 二	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-15</u>	陸軍歴史	<u>一五</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	沿海警備 三	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-16	陸軍歴史	<u>一六</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	沿海警備 四	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-17	陸軍歴史	<u>t</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	沿海警備 五	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-18</u>	陸軍歴史	<u>一八</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	講武所創設 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-19	陸軍歴史	<u>一九</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	講武所創設 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-20	陸軍歴史	<u>=0</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	軍制改正 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-21	陸軍歴史	<u> </u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	軍制改正 中	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-22	陸軍歴史	<u> </u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	軍制改正 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-23	陸軍歴史	111	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	兵賦改定	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-24	陸軍歴史	<u> </u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	三兵伝習 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-25	陸軍歴史	二五	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	三兵伝習 中	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
2-26	陸軍歴史	<u></u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	三兵伝習 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>2-27</u>	陸軍歴史	<u>=t</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	陸軍編制 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>2-28</u>	<u>陸軍歴史</u>	二八	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	陸軍編制 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
2-29	<u>陸軍歴史</u>	二九	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	兵餉経費 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1₩
<u>2-30</u>	陸軍歴史	<u>=0</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年〕	兵餉経費 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
<u>3</u>	陸軍歴史									
<u>3-1</u>	<u>陸軍歴史</u>	上巻	勝海舟		明治22年12月		印刷[活 版]		陸軍省総務 局版	1冊
3-2	陸軍歴史	<u>下巻</u>	〔勝海舟〕		〔明治22年12月〕		印刷[活 版]		陸軍省総務 局版	1冊
<u>4</u>	海軍歴史									
4-1	<u>海軍歴史</u>	<u> </u>	勝海舟		明治21年12月	例言·目録·海軍創立之 起因	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
4-2	海軍歴史	<u> </u>	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	下田港魯人遭難スクー ネル船新造	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>4-3</u>	海軍歴史	三・四(表紙は三巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	海軍伝習 上・中	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
<u>4-4</u>	海軍歴史	五(表紙は四巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	海軍伝習 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>4-5</u>	海軍歴史	六(表紙は五巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	長崎製鉄所	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>4-6</u>	海軍歴史	七・八(表紙は六巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	咸臨艦米国渡航 上•中	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1₩
<u>4-7</u>	<u>海軍歴史</u>	九(表紙は七巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	咸臨艦米国渡航 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>4-8</u>	海軍歴史	十(表紙は八巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	小笠原島開拓 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>4-9</u>	海軍歴史	十一(表紙は九巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	小笠原島開拓 中	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
4-10	<u>海軍歴史</u>	十二(表紙は十巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	小笠原島開拓 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
4-11	<u>海軍歴史</u>	十三(表紙は十一巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	軍制改正 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
4-12	<u>海軍歴史</u>	十四(表紙は十二巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	軍制改正 中	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
<u>4-13</u>	海軍歴史	十五(表紙は十三巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	軍制改正 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1₩
4-14	<u>海軍歴史</u>	十六・十七(表紙は十四巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	沿海測量·神戸操練所 設置	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>4-15</u>	<u>海軍歴史</u>	十八・十九(表紙は十五巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	仏国教師海軍伝習·英 国教師海軍伝習	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>4-16</u>	海軍歴史	二十(表紙は十六巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	横浜及横須賀製鉄所創設 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
4-17	海軍歴史	二十一(表紙は十七巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	横浜及横須賀製鉄所創設 中	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
4-18	<u>海軍歴史</u>	二十二(表紙は十八巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	横浜及横須賀製鉄所創設 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
4-19	<u>海軍歴史</u>	二十三(表紙は十九巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	船譜	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
4-20	海軍歴史	二十四(表紙は二十巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	費額及雑項 上	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
4-21	海軍歴史	二十五(表紙は二十一巻)	〔勝海舟〕		〔明治21年12月〕	費額及雑項 下	墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
<u>5</u>	漢訳海軍歴史									

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>5-1</u>	漢訳海軍歴史	一~四(表紙は一巻)	〔勝海舟 [著];井上 陳政[訳]〕		〔明治23年8月〕		墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿本とあり	1∰
<u>5-2</u>	漢訳海軍歴史	五・六(表紙は二巻)	〔勝海舟 [著];井上 陳政[訳]〕		〔明治23年8月〕		墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿本とあり	1∰
<u>5-3</u>	漢訳海軍歴史	七〜十(表紙は三巻)	〔勝海舟 [著];井上 陳政[訳]〕		〔明治23年8月〕		墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿本とあり	1∰
<u>5-4</u>	漢訳海軍歴史	十二~十四(表紙は四 <u>巻)</u>	〔勝海舟 [著];井上 陳政[訳]〕		〔明治23年8月〕		墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿本とあり	1∰
<u>5-5</u>	漢訳海軍歴史	十五~十八(表紙は五 <u>巻)</u>	〔勝海舟 [著];井上 陳政[訳]〕		〔明治23年8月〕		墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿本とあり	1冊
<u>5-6</u>	漢訳海軍歴史	十九~二十二(表紙は六巻)	〔勝海舟 [著];井上 陳政[訳]〕		〔明治23年8月〕		墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿 本とあり	1冊
<u>5-7</u>	漢訳海軍歴史	二十三~二十五(表紙は 七巻)	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		明治23年8月		墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿 本とあり	1冊
<u>6</u>	漢訳海軍歴史									
6-1	漢訳海軍歴史	自巻一至巻三 一	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1冊
<u>6-2</u>	漢訳海軍歴史	自巻四至巻五 二	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1∰
<u>6-3</u>	漢訳海軍歴史	自巻六至巻八 三	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
6-4	<u>漢訳海軍歴史</u>	自巻九至巻十 四	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1冊
<u>6-5</u>	<u>漢訳海軍歴史</u>	自巻十二至巻十三 五	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1冊
<u>6-6</u>	漢訳海軍歴史	<u>自巻十四至巻十六 六</u>	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1冊
<u>6-7</u>	漢訳海軍歴史	自巻十七至巻十九 七	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1冊
<u>6-8</u>	漢訳海軍歴史	自巻二十至巻廿一 八	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1冊
<u>6-9</u>	<u>漢訳海軍歴史</u>	自巻廿二至巻廿三 九	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		〔明治23年8月〕		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1冊
6-10	漢訳海軍歴史	自巻廿四至巻廿五 十	勝海舟[著] ; 井上陳政 [訳]		明治23年8月		墨書		旧目録に中 浄稿本とあり	1冊
<u>7</u>	海軍歴史									
<u>7-0</u>	海軍歴史	〔帙〕								1点
<u>7-1</u>	<u>海軍歴史</u>	巻壱至巻三 壱	〔勝海舟〕		〔明治22年11月2 日〕		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1∰
<u>7-2</u>	<u>海軍歴史</u>	巻四至巻五 弐	〔勝海舟〕		〔明治22年11月2 日〕		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1∰
<u>7-3</u>	<u>海軍歴史</u>	巻六至巻八 三	〔勝海舟〕		〔明治22年11月2 日〕		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1冊

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>7-4</u>	海軍歴史	巻九至巻十 四	〔勝海舟〕		〔明治22年11月2 日〕		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1∰
<u>7-5</u>	海軍歴史	巻十一至巻十三 五	〔勝海舟〕		〔明治22年11月2 日〕		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1∰
<u>7-6</u>	海軍歴史	巻十四至巻十六 六	〔勝海舟〕		〔明治22年11月2 日〕		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1∰
<u>7-7</u>	海軍歴史	巻十七至巻二十 七	〔勝海舟〕		〔明治22年11月2 日〕		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1∰
<u>7-8</u>	海軍歴史	巻廿一至巻廿二 八	〔勝海舟〕		〔明治22年11月2 日〕		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1冊
<u>7-9</u>	海軍歴史	巻廿三至巻廿五 九	〔勝海舟〕		明治22年11月2日		印刷[活 版]		海軍省蔵版	1∰
<u>8</u>	大日本創弁海軍史									
<u>8-1</u>	<u>大日本創弁海軍史</u>						墨書	海用清公箋国牌 書在本用本公箋国館用 大田館用本公箋	旧目録に稿本とあり	1∰
8-2	大日本創弁海軍史	<u>-</u>					墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿本とあり	1冊
8-3	大日本創弁海軍史	<u>=</u>					墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿本とあり	1冊
8-4	大日本創弁海軍史	<u>m</u>					墨書	日本国駐 清公使館	旧目録に稿本とあり	1冊
<u>8-5</u>	大日本創弁海軍史	<u>五</u> .					墨書	海舟書屋 用箋、在 清国日本 公使館用 箋	旧目録に稿本とあり	1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>8-6</u>	大日本創弁海軍史	立					墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿 本とあり	1冊
<u>8-7</u>	大日本創弁海軍史	七					墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に稿 本とあり	1₩
<u>8-8</u>	大日本創弁海軍史	<u>//</u>					墨書	海舟書屋 用箋、日 本国駐清 公使館用 箋	旧目録に稿本とあり	1∰
9	大日本創弁海軍史									
<u>9-1</u>	大日本創弁海軍史		〔勝海舟 [著];吉川 弘文館[発 行]〕		〔明治39年10月18 日〕		印刷[活 版]			1冊
<u>9-2</u>	大日本創弁海軍史	<u>-</u>	〔勝海舟 [著];吉川 弘文館[発 行]〕		〔明治39年10月18 日〕		印刷[活 版]			1冊
<u>9-3</u>	<u>大日本創弁海軍史</u>	111	勝海舟[著] ; 吉川弘文 館[発行]		明治39年10月18日		印刷[活 版]			1冊
<u>10</u>	海軍紀事 海舟翁自筆草 稿									
10-1	海軍紀事 海舟翁自筆草 稙	<u></u>	勝海舟				墨書		旧目録に自 筆草稿とあり	1冊
10-2	海軍紀事 海舟翁自筆草 稿	三・四	勝海舟				墨書		旧目録に自 筆草稿とあり	1冊
10-3	海軍紀事 海舟翁自筆草 <u>稿</u>	五・六	勝海舟				墨書		旧目録に自 筆草稿とあり	1冊
10-4	海軍紀事 海舟翁自筆草 稿	七・八	勝海舟				墨書		旧目録に自 筆草稿とあり	1冊
11	海軍小記		勝海舟		明治26年3月		墨書		旧目録に浄 写本とあり	1冊

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>12</u>	[海軍歴史資料 写]									
<u>12-1</u>	[海軍歴史資料 写]	海陸二軍将士階級順序 表					墨書		小出とあり	1∰
12-2	[海軍歴史資料 写]	<u>〔船譜〕</u>			寅10月		墨書		寅十月朔日 夜相達スと朱 書きあり	1冊
12-3	[海軍歴史資料 写]	[伝習科目・時間、巳年伝習洋文メモ]					墨書		巳年伝習と あり	1枚
<u>12-4</u>	[海軍歴史資料 写]	[永井岩之丞書簡写 他]			卯年		墨書		卯年分とあり	1綴
<u>12-5</u>	[海軍歴史資料 写]	取上候品取調書	大平備中 守·井上啓 次郎				墨書			1∰
12-6	[海軍歴史資料 写]	観光丸御船長崎表江御 廻し之節御入用諸品取 調帳・観光丸御船トイク綱 具其外取調帳	御軍艦操練 所御目付方		安政5年5月		墨書			1∰
12-7	[海軍歴史資料 写]	御軍艦操練所之儀二付 申上候書付	〔佐藤政養〕		〔慶応元年〕4月		墨書			1∰
<u>12-8</u>	[海軍歴史資料 写]	[船舶購入費用]					墨書			1綴
12-9	[海軍歴史資料 写]	[卯年伝習の洋文メモ]			卯年		墨書		卯年伝習と あり	1枚
12-10	[海軍歴史資料 写]	[昇平船等の航行日程に 関する書留]					墨書			1枚
12-11	[海軍歴史資料 写]	[伊藤甲子太郎建言書]			慶応4年2月		墨書			1綴
12-12	[海軍歴史資料 写]	[足利三将軍木像梟首の 事件につき声明文および 町触の写]			文久3年2月		墨書			1綴
12-13	[海軍歴史資料 写]	牧野備前守殿御渡候御 定書写			亥11月		墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-14	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	「成臨御船附水夫胴服等 につき何書および再上申 書」	海軍奉行• 御軍艦奉行		丑6~7月		墨書			1綴
12-15	[海軍歴史資料 写]	<u>駿府表海軍調所等之儀</u> 二付申上候書付	軍艦頭		辰8月		墨書			1綴
12-16	[海軍歴史資料 写]	[井上河内守·松平豊前 守御渡書付]			亥3~4月		墨書			1綴
12-17	[海軍歴史資料 写]	上意之趣·和泉守殿諸役 人江被仰渡候趣			戌5月		墨書			1枚
12-18	[海軍歴史資料 写]	〔井上河内守殿御渡御書 付写2通〕			亥3月		墨書			1綴
12-19	[海軍歴史資料 写]	[松平豊前守殿御渡候御 書付写2通]			亥4月		墨書			1綴
12-20	[海軍歴史資料 写]	<u>御法令(留守中の儀につ</u> き)			文久3年2月11日		墨書			1綴
12-21	[海軍歴史資料 写]	<u>河内守殿御渡候御書付</u> 写			寅8月8日		墨書			1枚
12-22	[海軍歴史資料 写]	海軍必要之諸器械並書 籍等買留方之儀二付申 上候書付	海軍奉行• 御軍艦奉行		丑9月		墨書			1綴
12-23	[海軍歴史資料 写]	横浜表製鉄所之儀ニ付 申上候書付			丑9月		墨書			1綴
12-24	[海軍歴史資料 写]	和蘭公使より差出候書簡 和解			丑7月11日		墨書			1綴
12-25	[海軍歴史資料 写]	<u>弐百三拾九番和蘭公使</u> 江可被差遣候返簡案			<del>11.</del>		墨書			1綴
12-26	[海軍歴史資料 写]	井上河内守殿御書付写 (公方様薨御)			8月		墨書			1綴
12-27	[海軍歴史資料 写]	和蘭国江御作之御軍艦 江御備相成候大砲之儀 二付申上候書付	海軍奉行• 御軍艦奉行		丑7月		墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-28	[海軍歴史資料 写]	<u>[学問吟味につき相達す]</u>	新庄右近· 瀧沢喜太 郎·新見相 模守		卯6月		墨書			1綴
12-29	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	品川沖碇泊御船々乗組 士官並水夫等御手当御 酒代等之義ニ付申上候 書付	軍艦奉行• 軍艦頭		辰1月		墨書			1綴
12-30	[海軍歴史資料 写]	御支配御組人数割書			戌10月23日		墨書			1枚
<u>12-31</u>	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	蒸気百馬力御軍艦航海 之節乗組之者御手当並 賄入用石炭其外航海遣 必要之諸品大凡入用日 数十五日分取調書					墨書			1綴
12-32	[海軍歴史資料 写]	有馬中務大補家来船中 治定引合覚					墨書			1枚
<u>12-33</u>	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	〔桜井貞蔵他3名書簡·宿 継証文〕	桜井貞蔵・ 中澤又十 郎・吉岡男 平・矢田堀 景蔵	福岡久右衛 門 他1名	2月25日		墨書			1綴
12-34	[海軍歴史資料 写]	差上申御請書之事	菊太郎(御船付鍛冶職)·長吉(同大工職)		慶応元年9月16日		墨書			1綴
<u>12-35</u>	[海軍歴史資料 写]	[召使罷在候彦兵衛と申 す者、種々不正の儀につ き書付を以て申上候]	増田安次 郎・増田利 助		慶応2年5月		墨書			1綴
12-36	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	<ul><li>[松平周防守殿御渡の御 触]</li></ul>			9月		墨書			1綴
12-37	[海軍歴史資料 写]	美濃守殿御渡御書付写			卯7月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-38	[海軍歴史資料 写]	相州横須賀並横浜表江 製鉄所御取建ニ付器械 製作方御雇等之儀ニ付 相伺候書付			丑2月		墨書			1綴
12-39	[海軍歴史資料 写]	大元丸御船大砲附弾丸 新規御出来之儀申上候 書付	井上信濃 守·木村摂 津守		戌1月		墨書			1綴
12-40	[海軍歴史資料 写]	成臨丸蟠竜丸御船附合 薬入銅箱御出来御入用 之儀奉伺候書付					墨書			1綴
12-41	[海軍歴史資料 写]	[海軍御定金之儀につき 書類3点]			卯12月		墨書			1綴
12-42	[海軍歴史資料 写]	井上河内守殿御渡御書 付写四通			寅8月		墨書			1綴
12-43	[海軍歴史資料 写]	[諸御入用支払方の定例 手続につき何書]			辰閏4月		墨書			1綴
12-44	[海軍歴史資料 写]	〔海軍総括御定金の受払 取扱方につき入御聴置 書付〕					墨書			1綴
<u>12-45</u>	[海軍歴史資料 写]	覚(学生30人分の扶持給 金・焚出し入用等)					墨書			1綴
12-46	[海軍歴史資料 写]	<u>〔北品川ほか30箇所書</u> ト〕			申10月		墨書			1綴
12-47	[海軍歴史資料 写]	[神奈川港御警衛蟠竜 丸・昇平丸御船乗組大工 鍛冶職御手当の支払お よび持越高につき入御聴 置書付]			酉11月		墨書			1綴
<u>12-48</u>	[海軍歴史資料 写]	[神奈川港御警衛昇平丸 御船遣諸品御買上代並 諸入用・乗組役日当御手 当につき書類4点]			戌4月		墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-49	[海軍歴史資料 写]	小笠原嶋為御用朝陽丸 御船江乗組被差遣候支 配向其外之者御暇拝領 物之儀相願候書付					墨書			1綴
12-50	[海軍歴史資料 写]	[絵具擦盤入用の支払方 につき伺書]			酉10月		墨書			1綴
12-51	[海軍歴史資料 写]	[長州藩禁闕砲発候一条 につき御達3通]			元治元年8~9月		墨書			1綴
12-52	[海軍歴史資料 写]	水野和泉守殿御渡御書 付写(長州藩追討)			元治元年7月		墨書			1綴
12-53	[海軍歴史資料 写]	覚(英夷一条警衛方につ き御触)			亥5月		墨書			1綴
12-54	[海軍歴史資料 写]	覚(御進発につき御軍令・ 下知状写を相達す)			慶応元年4~5月		墨書			1綴
12-55	[海軍歴史資料 写]	<u>[御進発御用関係書類9</u> <u>通]</u>			慶応2年9~10月		墨書			1綴
12-56	[海軍歴史資料 写]	松平出羽守家来御達(軍 艦八雲丸の件)			丑5月		墨書			1綴
12-57	[海軍歴史資料 写]	[牛込忠左衛門・木城安 太郎御役御免後の処遇 につき申渡]			寅8月		墨書			1枚
12-58	[海軍歴史資料 写]	美濃守御渡候別紙御書 付三通写(当月22日御法 事)			巳7月		墨書			1綴
12-59	[海軍歴史資料 写]	鏡並晴雨儀御買上之儀	井上信濃 守•木村摂 津守		申11月		墨書			1綴
12-60	[海軍歴史資料 写]	〔昇平丸御船大砲関係書 類7通〕			戌1~3月		墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-61	[海軍歴史資料 写]	御軍艦取調役組頭御礼 其外之儀ニ付相伺候書 付・覚(桜井貞蔵足高)			寅7月		墨書			1綴
12-62	[海軍歴史資料 写]	[仏人より申立の製造所 附属職人等の儀につき取 計い方何書]			丑9月		墨書			1綴
12-63	[海軍歴史資料 写]	[御船役人早川鉄五郎嫡 孫承祖訴願関係書類3 通]			文久3年10月		墨書			1綴
12-64	[海軍歴史資料 写]	[日光参詣関係書類5通]	鈴木田弥太 夫(御本丸 御広敷)		子4月		墨書			1綴
12-65	[海軍歴史資料 写]	蟠龍太平丸御船御修復 之儀二付相伺候書付	海軍奉行· 御軍艦奉行		寅1月		墨書			1綴
12-66	[海軍歴史資料 写]	太平丸御船之儀二付申 上候書付	海軍奉行• 御軍艦奉行		寅8月		墨書			1綴
12-67	[海軍歴史資料 写]	和蘭公使より差出候書簡 之儀ニ付申上候書付	外国奉行		丑7~9月		墨書			1綴
12-68	[海軍歴史資料 写]	富士山御船江乗組渡航 致候亜人江被下物御入 用内訳帳					墨書			1綴
12-69	[海軍歴史資料 写]	[御進発中御勝手向の儀 につき伊勢守仰聞候事]					墨書			1綴
12-70	[海軍歴史資料 写]	林大学頭其外より申上 <u>候</u> 書面之儀ニ付申上候書 付	御軍艦奉行		子10月		墨書			1綴
12-71	[海軍歴史資料 写]	<u></u>			元治元年		墨書			1綴
12-72	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	御軍艦操練所御門番湯 吞所之者出役之儀二付 申上置候書付	井上信濃 守·木村摂 津守		申11月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-73	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	支配向明き跡取人其外 之儀ニ付相伺候書付	御軍艦頭 取·取調役 組頭		丑閏5月		墨書			1綴
12-74	[海軍歴史資料 写]	<u>美濃守殿御渡御書付写</u> <u>弐通</u>			寅11月		墨書			1綴
12-75	[海軍歴史資料 写]	<u>[御上洛御供の儀につき</u> 相触候]			寅11月		墨書			1綴
12-76	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	此度御改革二付年中御 礼日着服左之通御定被 成候事			卯3月		墨書			1綴
12-77	[海軍歴史資料 写]	横浜表仏語伝習相願候 者名前之儀申上候書付 (斎藤源太郎)	海軍奉行• 御軍艦奉行		丑11月		墨書			1綴
12-78	[海軍歴史資料 写]	軍艦附御雇医師名前之 儀申上書付	海軍奉行 並•軍艦奉 行		卯4月		墨書			1綴
12-79	[海軍歴史資料 写]	[酉年より子年までの請取 高・操練所定式御入用支 払高等につき書上]					墨書			1綴
12-80	[海軍歴史資料 写]	御軍艦取調役同出役並 下役等御用人二付申上 候書付	御軍艦奉行		丑閏5月		墨書			1通
12-81	[海軍歴史資料 写]	覚(当五月初向迄御船々 御入用並役々御手当金 等御出方につき取調)			寅4月		墨書			1綴
12-82	[海軍歴史資料 写]	周防守殿御渡候御書付 写弐通			丑12月		墨書			1綴
12-83	[海軍歴史資料 写]	〔陸軍附調役組頭御礼其 外につき何書2通〕			子12月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-84	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	〔御軍艦操練所勤番組頭 等の勤方御礼其外につき 同書4通〕			未12月~酉7月		墨書			1綴
<u>12-85</u>	[海軍歴史資料 写]	海軍御定金之內当暮御 渡方之儀申上候書付	海軍奉行 並•軍艦奉 行		卯12月		墨書			1綴
12-86	[海軍歴史資料 写]	[海軍御定金出方手続に つき何書]					墨書			1綴
<u>12-87</u>	[海軍歴史資料 写]	覚(辰1月18日より4月11 日までの請取金および上 納人足賃につき書上)	稲垣次郎七 (三井八郎 右衛門名 代)	海軍方御役所	辰4月14日		墨書			1綴
12-88	[海軍歴史資料 写]	[御支配不勤の者より差 出候御軍役金を御貸付 会所へ相託し候儀につき 何書]			卯9月		墨書			1綴
12-89	[海軍歴史資料 写]	海軍御定書御渡方之儀 二付申上候書付					墨書			1綴
12-90	[海軍歴史資料 写]	[御定金預ケ高金8万両 遣払い内訳等]					墨書			1綴
12-91	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	<u>〔海軍歴史原稿〕</u>					墨書		昭和49年5月 付勝部真長 による極め書 あり	1綴
12-92	[海軍歴史資料 写]	和蘭陀国江御誂船製造 中諸術為研究被差遣候 御軍艦組其外之者御手 当之儀ニ付相願候書付	御軍艦奉行		亥6月		墨書			1綴
<u>12-93</u>	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	和蘭陀国江御誂船製造 中諸術為研究被差遣候 御軍艦組其外之者御手 当之儀二付相願候書付	大関肥後 守•藤沢志 摩守		丑8月		墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-94	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	請取申金子之事·朝陽丸 御船御修復御用為見廻 浦賀表江罷越候支配向 日当御手当請取之義申 上候書付			万延2年1月~5月		墨書			1綴
12-95	[海軍歴史資料 写]	順動丸鯉魚門御船敷廻り 其外御手入として唐国香 港上海等江御廻し之儀 相同候書付	矢田堀景 蔵·木下謹 吾		亥10月		墨書			1綴
12-96	[海軍歴史資料 写]	荷蘭海軍乗組人員之記					墨書			1綴
12-97	[海軍歴史資料 写]	御軍艦乗組水夫火焚等 之儀二付申上候書付2通	御軍艦奉行		8月•子6月		書			1綴
<u>12-98</u>	[海軍歴史資料 写]	建增其外共入用取調書					墨書			1綴
12-99	[海軍歴史資料 写]	井上河内守殿御渡候書付写	毛利具丸		寅6月13日		墨書			1綴
12-100	[海軍歴史資料 写]	船譜					墨書			1綴
12-101	[海軍歴史資料 写]	御軍艦乗組諸役					墨書			1綴
12-102	[海軍歴史資料 写]	覚(足高渡し方につき2通)			慶応2年		墨書			1綴
12-103	[海軍歴史資料 写]	〔稲葉美濃守殿御渡候御 書付写2通〕			卯8月		墨書			1綴
12-104	[海軍歴史資料 写]	稲葉美濃守殿御渡候御 覚書写弐通			卯8月		墨書			1綴
12-105	[海軍歴史資料 写]	和蘭陀国へ留学之者江 洋銀御渡之義申上候書 付	海軍奉行 並•軍艦奉 行		卯7月		墨書			1綴
12-106	[海軍歴史資料 写]	諸職人賃銀之儀二付申 上候書付	海軍奉行 並•軍艦奉 行		卯4月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-107	[海軍歴史資料 写]	和蘭陀国へ引残留学仕 候者へ御渡可相成洋銀 之儀ニ付申上候書付	海軍奉行• 御軍艦奉行		寅3月		墨書			1綴
12-108	[海軍歴史資料 写]	横浜表製鉄所御仕法筋 之儀二付相伺候書付			丑閏5月		墨書			1綴
12-109	[海軍歴史資料 写]	〔幕府海軍諸職役料等一 覧〕					墨書			1綴
12-110	[海軍歴史資料 写]	[伊勢志摩尾張三ヶ国海路測量の儀につき藤堂和泉守より何および木村摂津守存寄]	千田源内 (藤堂和泉 守家来)·木 村摂津守		戌閏8月		墨書			1綴
12-111	[海軍歴史資料 写]	[順動丸・太平丸・大江丸 御船乗組人数]			〔丑2月〕		墨書			1綴
12-112	[海軍歴史資料 写]	<u>[千代田形御船乗組人</u> 数]			〔丑2月〕		墨書			1綴
12-113	[海軍歴史資料 写]	〔咸臨丸朝陽丸御船乗組 人数〕			〔丑2月〕		墨			1綴
<u>12-114</u>	[海軍歴史資料 写]	[翔鶴丸御船乗組人数]			〔丑2月〕		墨書			1綴
12-115	[海軍歴史資料 写]	[蟠龍丸御船乗組人数]			〔丑2月〕		墨書			1綴
12-116	[海軍歴史資料 写]	[黒龍丸御船乗組人数]			〔丑2月〕		墨書			1綴
12-117	[海軍歴史資料 写]	[西洋規定に基く乗組人数の儀につき取調のうえ 何書・観光丸御船乗組人数]	御軍艦頭 取・取調役 組頭		丑2月		墨書			1綴
12-118	[海軍歴史資料 写]	仏国江為御用罷越候御 軍艦頭取其外之者御手 当請取方之儀二付再応 相願候書付	岡部駿河守		丑閏5月		計			1綴
12-119	[海軍歴史資料 写]	[寅八月八日周防守殿御 渡候御書付写]			寅8月		墨書			1綴
12-120	[海軍歴史資料 写]	〔御軍艦頭取以下役々着 服の儀につき規定〕		御軍艦頭取 他6名			墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>12-121</u>	[海軍歴史資料 写]	備前守殿御渡候御書付 写			亥11月		墨書			1綴
12-122	[海軍歴史資料 写]	<u>跡目願書</u>			文久元年7月		墨書			1綴
12-123	[海軍歴史資料 写]	[板倉周防守殿御渡候御 書付写 他7通]			戌閏8月		墨書			1綴
12-124	[海軍歴史資料 写]	千秋丸昇平丸両御船神 奈川港碇泊中一ヶ月御 入用差引書					墨書			1綴
<u>12-125</u>	[海軍歴史資料 写]	御船乗組惣人数御手当 並御賄菜代とも一日分御 入用高					墨書			1綴
<u>12-126</u>	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	別冊御入用高之外此度 和蘭公使御乗組一旦帰 東いたし候ハン別段御下 ケ金左之通・兵庫港より 長崎夫より北海廻り品川 迄・薪炭等凡積・江戸出 帆の節御入用分					墨書			1綴
12-127	〔海軍歴史資料 写〕	昇平丸御船御備附大砲 車台御脩復並武器類其 外御出来御入用之儀相 伺候書付	井上信濃 守·木村摂 津守		戌1月		墨書			1綴
12-128	〔海軍歴史資料 写〕	神奈川港御警衛昇平丸 御船御据附大砲之儀二 付相伺候書付	井上信濃 守·木村摂 津守		酉12月		墨書			1綴
12-129	[海軍歴史資料 写]	御船々古鉄物類之儀二 付猶申上候書付	海軍奉行• 御軍艦奉行		丑8月		墨書			1綴
12-130	〔海軍歴史資料 写〕	千代田形御船附水夫火 焚袷胴服其外御出来之 義相伺候書付・同御入用 内訳帳	矢田堀景 蔵·木下謹 吾		亥10月		墨書			1綴
12-131	[海軍歴史資料 写]	水野和泉守殿御渡候御 書付写一通並別紙写			5月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-132	[海軍歴史資料 写]	松平周防守殿御渡候 <u>党</u> 書写			4月		墨書			1綴
12-133	[海軍歴史資料 写]	造船具御誂等之儀ニ付 御書取之趣評議仕申上 候書付	松平出雲守 他6名		申12月		墨書			1綴
12-134	[海軍歴史資料 写]	支配向之者屋鋪切坪三 方相対替之儀相願候書 付			戌12月		墨書			1綴
12-135	[海軍歴史資料 写]	〔三方切坪屋鋪相対替願 書につき掛合〕			戌12月		墨書			1綴
12-136	[海軍歴史資料 写]	御軍艦綱具打立方地所 之儀二付申上候書付	御軍艦奉行		午9月		墨書			1綴
12-137	[海軍歴史資料 写]	御軍艦取附小船押送御船並水船等御製造之儀 申上候書付	御軍艦奉行		午6月		墨書			1綴
12-138	[海軍歴史資料 写]	御軍艦操練所御用達之 儀二付相願候書付	御軍艦奉行 並		亥11月		墨書			1綴
12-139	[海軍歴史資料 写]	御軍艦所御用達之儀二 付相願候書付	御軍艦奉行		子10月		墨書			1綴
12-140	[海軍歴史資料 写]	御軍艦操練所御用達之 義二付申上候書付	御軍艦奉行		寅5月		墨書			1枚
12-141	[海軍歴史資料 写]	勝氏米行紀事					墨書			1綴
12-142	[海軍歴史資料 写]	御軍艦操練所調方出役 御船乗組御手当之儀相 伺候書付			申6月		墨書			1綴
12-143	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	神奈川港御警衛御船々 乗組御用相勤候御軍艦 頭取其外之者御褒美之 儀相願候書付	御軍艦奉行 並		子5月		墨書			1綴
12-144	[海軍歴史資料 写]	神奈川港御警衛船之義 二付申上候書付	御軍艦奉行		子3月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-145	[海軍歴史資料 写]	取越米之儀ニ付申上候 書付	御軍艦奉行		丑5月		墨書			1綴
12-146	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	御船々航海之節乗組之 者江被下候御賄其外之 儀二付申上候書付	御軍艦奉行		丑2月		墨書			1綴
12-147	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	成臨丸御船御修復遣木 材之儀ニ付申上候書付・ 成臨丸御船御修復木材 請取之儀申上候書付	御軍艦奉行並 他		午1~3月		墨書			1綴
12-148	[海軍歴史資料 写]	[西洋銃隊調練における 華美風儀を取締るべく御 達]			5月		墨書			1綴
12-149	[海軍歴史資料 写]	御船々蒸気遣石炭之儀 二付申上候書付	御軍艦奉行		寅12月		墨書			1綴
12-150	〔海軍歴史資料 写〕	〔唐津石炭南海廻り塩飽 崎迄積付囲置の儀につき 諸値段等申上げ候〕	山下清助· 高嶋惣兵衛 (塩飽崎年 寄)	中嶋栄吉・ 梅沢鎌太郎	卯4月3日		墨書			1綴
12-151	〔海軍歴史資料 写〕	神奈川港御警衛御船々 為取締支配向御褒美之 儀相願候書付	御軍艦奉行 並		子4月		墨書			1綴
12-152	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	〔濱海軍所御構内巡邏並 勤番相勤候者江被下候 石代・御手当其外御入用 内訳書2点〕					墨書			1綴
12-153	[海軍歴史資料 写]	御入用懸り申立候別冊書 面中下評之趣左ニ申上 候					墨書			1綴
12-154	[海軍歴史資料 写]	[支配軍艦取調役組頭へ 被下候粮米受取方につ き掛合]			卯4月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>12–155</u>	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	神奈川港御警衛御船々 乗組御用相勤候講武所 刀砲術修行人御褒美之 儀相願候書付	講武所奉 行·御軍艦 奉行並		子3月		墨書			1綴
<u>12-156</u>	[海軍歴史資料 写]	開陽御船水夫火焚御賄 御給米等之義二付相願 候書付	海軍奉行並 他		卯9月		墨書			1綴
12-157	[海軍歴史資料 写]	御船々水夫火焚御給米 受取之儀申上候書付	海軍奉行• 御軍艦奉行		丑		墨書			1綴
<u>12-158</u>	[海軍歴史資料 写]	御軍艦附水夫火焚小頭 肝煎其外之者勤中病死 仕候者御手当之儀二付 申上候書付	御軍艦奉行		午6月		墨書			1綴
12-159	[海軍歴史資料 写]	順動丸御船附水夫同心 格火焚小頭肝煎病死之 者御手当之儀相願候書 付	御軍艦奉行		午6月		墨書			1綴
12-160	[海軍歴史資料 写]	<u>覚(神奈川表の継立人馬</u> 軽減)			丑12月		墨書			1綴
12-161	[海軍歴史資料 写]	[御軍役人数改正による 新規歩卒抱入れの儀、請 負人任命につき召抱の輩 は相心得べく候]			寅8月		墨書			1綴
12-162	[海軍歴史資料 写]	入置申証文之事		〔札差宿〕	慶応元年9月		墨書			1綴
12-163	[海軍歴史資料 写]	成臨丸御船御修復為御 用浦賀表江被差遣候二 付取計方之儀奉伺候書 付			亥9月		墨書			1綴
12-164	[海軍歴史資料 写]	千秋丸御船帰帆之儀申 上候書付	井上信濃 守·木村摂 津守		4月29日		墨書			1綴
<u>12-165</u>	[海軍歴史資料 写]	小笠原嶋詰交代之者乗 組船之儀ニ付評議仕候 趣申上候書付	内田主殿 頭·木村摂 津守		亥2月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-166	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	<u>[御船便荷物運賃凡取調</u> 書2通]			卯3月		墨書			1綴
<u>12-167</u>	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	[大手御門当番の海軍附 同心へ御賄料下し置かれ たく相伺候、軍艦役以下 の御賄料渡し方につき相 伺候]			辰1~2月		墨書			1綴
<u>12-168</u>	[海軍歴史資料 写]	海陸二軍将士階級順席					墨書			1綴
12-169	[海軍歴史資料 写]	御船附属附職人之義二 付奉伺候書付	川路左衛門 尉 他4名		巳12月		墨書			1綴
12-170	[海軍歴史資料 写]	[御軍艦操練教授方出役 等への御褒美・扶持書 上]					墨書			1綴
12-171	[海軍歴史資料 写]	水野和泉守殿御渡候御 覚書写			丑閏5月		墨書			1枚
12-172	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	御軍艦頭取以下役々御 用ニ付陸路被差遣候節 旦当御手当等被下方取 調書	井上信濃 守·木村摂 津守				墨書			1綴
12-173	[海軍歴史資料 写]	御軍艦取調役明き跡之 養相願候書付	海軍奉行· 御軍艦奉行		寅3月		墨書			1綴
12-174	[海軍歴史資料 写]	「佐脇新兵衛跡相続の被仰渡振および被仰上案」 につき取調べ相伺候」	石川壮次郎 他3名		丑2月		墨書			1綴
<u>12-175</u>	[海軍歴史資料 写]	和泉守殿御渡御書付写			元治元年7月		墨書			1綴
12-176	[海軍歴史資料 写]	〔人馬継之儀ニ付申上候 書付 他5通〕	柴田日向守		寅2月		墨書			1綴
12-177	[海軍歴史資料 写]	〔養生所附小使給料渡し 方につき相伺候、濱御構 内養生所小使請書〕			慶応3年9月		墨書			1綴
12-178	[海軍歴史資料 写]	御役名唱替之義相願候 <u>書付</u>			辰10月		墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-179	[海軍歴史資料 写]	松平伯耆守殿御渡候御 <u>党書写</u>			丑9月		墨書			1枚
12-180	[海軍歴史資料 写]	海軍将士資級之儀二付 申上候書付	御軍制掛				墨書			1綴
12-181	[海軍歴史資料 写]	御軍艦其外御船々航海 並品川沖御当番相勤候 御軍艦頭取以下役々日 当御手当取調書	御軍艦奉行				墨書			1綴
12-182	[海軍歴史資料 写]	御軍艦頭取以下役々御船々航海御用並品川沖 御船当番日当御手当引 直其外之儀ニ付申上候 書付	御軍艦奉行		丑3月		墨書			1綴
12-183	[海軍歴史資料 写]	神奈川表江罷越候日当 御手当					墨書			1綴
12-184	[海軍歴史資料 写]	御軍艦頭取以下役々日 当御手当等引直之儀ニ 付再応申上候書付	御軍艦奉行		丑4月		墨書			1綴
12-185	[海軍歴史資料 写]	[蔵宿よりの借金の無利子年賦返済につき御触]			天保14年12月		墨書			1綴
12-186	[海軍歴史資料 写]	和泉守殿御渡候御書付 写			戌12月29日		墨書			1綴
12-187	[海軍歴史資料 写]	和泉守殿御渡候御書付 写 他2通			丑9~10月		墨書			1綴
12-188	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	翔鶴御船御修復御入用 之儀ニ付申上候書付・八 丈嶋江漂着之者為連越 翔鶴御船御仕出しニ付航 海諸御入用之儀申上候 書付・御軍艦御備附大砲 御買上之儀相伺候書付 他1通	御軍艦奉行		子8月~丑3月		墨書			1綴
12-189	[海軍歴史資料 写]	[文久2年伊勢志摩尾張 三州測量図の附言・凡 例]			慶応元年5月		墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-190	[海軍歴史資料 写]	周防守殿御渡候御覚書 写			寅7月		墨書			1綴
12-191	[海軍歴史資料 写]	御軍艦操練教授方之者 御賄料之儀相願候書付	永井玄蕃頭		未7月		墨書			1綴
12-192	[海軍歴史資料 写]	尾張殿御船拝借之儀二 付御目付評議之写			3月		書			1綴
12-193	[海軍歴史資料 写]	観光丸御船附水夫火焚 御給料等之儀相伺候書 付			午11月		墨書			1綴
12-194	[海軍歴史資料 写]	御船々並御軍艦操練所 遣ひ諸品納直段割増之 儀二付相伺候書付	御軍艦奉行		#		墨書			1綴
12-195	[海軍歴史資料 写]	蒸気御船遣石炭掘取方 其外見込之趣取調申上 候書付			丑1月		墨書			1綴
12-196	[海軍歴史資料 写]	御軍艦操練所絵図認方 出役之儀相願候書付	御軍艦奉行		丑4月		墨書			1枚
12-197	[海軍歴史資料 写]	海軍附絵図認方御取立 之儀相願候書付	海軍奉行 並•御軍艦 奉行		寅8月		墨書			1綴
12-198	[海軍歴史資料 写]	御進発為御用上坂罷在 候支配向帰府為仕候義 二付相伺候書付	海軍奉行 並•御軍艦 奉行		寅8月		墨書			1綴
12-199	〔海軍歴史資料 写〕	[尾張殿より返納相成り候 朝陽丸の乗組役々等へ の御賄料につき相伺候]			寅5月		墨書			1綴
12-200	[海軍歴史資料 写]	長崎表より差越候高木元 吉外壱人之儀ニ付申上 候書付			寅10月		墨書			1綴
12-201	[海軍歴史資料 写]	和蘭国江御朓御船製造 中諸術為研究被差遣候 者之内留学之儀二付相 願候書付	御軍艦奉行		丑6月		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-202	[海軍歴史資料 写]	阿部豊後守殿御渡候御 覚書写			子11月24日		墨書			1綴
12-203	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	御軍艦附水夫等江被下 候酒之儀二付申上候書 付	井上信濃 守·木村摂 津守		酉11月		墨書			1綴
12-204	〔海軍歴史資料 写〕	[御用のため諸方へ罷越 候節の日当御手当渡し 方につき申渡]			子12月		墨書			1綴
12-205	[海軍歴史資料 写]	稲葉美濃守殿御渡候御 書付写五通			卯9月		墨書			1綴
12-206	〔海軍歴史資料 写〕	海軍伝習御入用金御前 借之義申上候書付	海軍奉行 並•軍艦奉 行		卯12月		墨書			1綴
12-207	〔海軍歴史資料 写〕	海軍御定金之内壱ヶ月 金三万両御渡之見込を 以割合取調書					墨書			1綴
12-208	〔海軍歴史資料 写〕	御定金御内借受取之儀 申上候書付	海軍奉行 並•軍艦奉 行		辰1月10日		墨書			1綴
12-209	〔海軍歴史資料 写〕	海軍御定金御渡二付御 船々御入用筋取扱方之 義申上候書付	海軍奉行 並・軍艦奉 行・軍艦頭		辰1月		墨書			1綴
12-210	[海軍歴史資料 写]	松平周防守殿御渡御書付写			寅9月		墨書			1綴
12-211	[海軍歴史資料 写]	〔山階常陸宮他を結党建 言により譴責す〕			寅10月		墨書			1綴
12-212	[海軍歴史資料 写]	将軍宣下之次第			12月5日		墨書			1綴
12-213	[海軍歴史資料 写]	[美濃守殿御渡書付写]			卯3月		墨書			1枚
12-214	[海軍歴史資料 写]	河内守殿御渡御書付別 紙共写弐通			卯6月		墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-215	[海軍歴史資料 写]	河内守殿御渡御書付別 紙共写三通			卯6月		墨書			1綴
12-216	[海軍歴史資料 写]	<u>覚(海軍所諸職への任命</u> 4 <u>通)</u>			卯3月		墨書			1綴
12-217	[海軍歴史資料 写]	小笠原壱岐守殿御渡候 御書付写			卯6月		墨書			1綴
12-218	[海軍歴史資料 写]	松平周防守殿御渡候御 書付写			6月		墨書			1綴
12-219	[海軍歴史資料 写]	美濃守殿御渡御書付並 別紙共写弐通			卯7月		墨書			1綴
12-220	[海軍歴史資料 写]	[海軍御定金前借につき 勘定奉行へ仰せ渡された し]			1月10日		墨書			1枚
12-221	[海軍歴史資料 写]	屋鋪三方切坪相対替奉 顧候書付			戌9月		墨書			1枚
12-222	[海軍歴史資料 写]	屋鋪切坪三方相対替奉 願候書付			戌10月		墨書			1枚
12-223	[海軍歴史資料 写]	<u>壱岐守殿御渡候御覚書</u> 写			卯2月		墨書			1枚
12-224	[海軍歴史資料 写]	[伊賀守殿御渡候御書付 写]			寅11月		墨書			1枚
12-225	[海軍歴史資料 写]	[伊賀守殿御渡候御書付 写·御目付中御達写]			卯1月		墨書			1枚
12-226	[海軍歴史資料 写]	縫殿頭殿御渡御書付写 (昭徳院正一位太政大臣 贈官位)			慶応3年7月		墨書			1枚
12-227	[海軍歴史資料 写]	稲葉美濃守殿御渡御書 付写			卯10月		墨書			1枚
12-228	[海軍歴史資料 写]	海軍御定金取扱方之儀 二付申上候書付	海軍奉行 並•軍艦奉 行		辰1月		墨書			1枚

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-229	[海軍歴史資料 写]	寅八月八日於席々周防 守殿御演述(公方様御不 例にて相続方および防長 御追討につき演述)			寅8月8日		墨書			1枚
12-230	[海軍歴史資料 写]	[松平周防守殿御渡候御 覚書写]			寅9月		墨書			1枚
12-231	[海軍歴史資料 写]	松平周防守殿御渡候 <u>党</u> 書写			4月		墨書			1枚
12-232	[海軍歴史資料 写]	[和泉守殿御渡候御覚書 写]			寅2月		墨書			1枚
12-233	[海軍歴史資料 写]	水野和泉守殿御渡候御 書付写			子7月		墨書			1枚
12-234	[海軍歴史資料 写]	「航海等に差支につき御船便への長棹類積込は相成り難き儀と御取極仕りたく此の段申上げ候」					書			1枚
12-235	[海軍歴史資料 写]	[海軍所伝習凡手続]					墨書		前欠	1枚
12-236	[海軍歴史資料 写]	[海軍御定金出納にて以 後は勘定奉行立会に及 ばず]	伊賀守	矢田堀讃岐 守	辰2月25日		墨書			1枚
12-237	[海軍歴史資料 写]	別紙(防長追討に際し宸 禁を安じ奉り候様諸藩へ 申聞くべき様御沙汰)			6月		墨書			1枚
12-238	[海軍歴史資料 写]	[伊賀守殿御渡書付並別 紙共2通写]			9月1日		墨書			1枚
12-239	[海軍歴史資料 写]	太平丸御船於横浜製鉄 所御修復之義二付申上 候書付	海軍奉行• 御軍艦奉行		丑9月		墨書			1枚

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-240	<u>[海軍歴史資料 写]</u>	朝陽御船尾張殿江御貸 渡相成候二付為引渡浦 賀表江陸通差遣候支配 向之者御手当之儀奉願 候書付	御軍艦奉行		丑6月		墨書			1枚
12-241	[海軍歴史資料 写]	<u>「大坂御用御手当御下知</u> <u>写」</u>					墨書			1枚
12-242	[海軍歴史資料 写]	[桜井貞蔵へ在来御役宅 のうち割当の御達]			巳11月		墨書			1枚
12-243	[海軍歴史資料 写]	[御出陣御供・御留守に つき口達]	駒井山城守		8月3日		墨書			1枚
12-244	[海軍歴史資料 写]	海軍非常用意金請取之 儀申上候書付	海軍総裁		辰4月		墨書			1枚
12-245	[海軍歴史資料 写]	金銀請取下ケ並上納金 御入用調書(表紙のみ)					墨書			1枚
12-246	[海軍歴史資料 写]	覚(金1万7千両受取)	川村録四郎 (開陽乗組)	酒井永三郎	4月10日		墨書			1枚
12-247	[海軍歴史資料 写]	和泉守殿御渡御書付写			丑9月		墨書			1枚
12-248	[海軍歴史資料 写]	和蘭陀国江御軍艦御朓 相成候二付見込之趣相 伺候書付	大久保越中 守 他5名		戌2月		墨書		後欠	1枚
12-249	[海軍歴史資料 写]	御軍艦操練所稽古場向 其外御模様替御修復等 之儀二付申上候書付	御軍艦奉行		午4月		墨書			1枚
12-250	[海軍歴史資料 写]	成二月廿日朝陽丸御船 小笠原嶋江御廻之節中 沢又十郎取計伺之内書 抜			戌2月		墨書			1枚
12-251	[海軍歴史資料 写]	支配向之者夏足袋之儀 申上候書付	井上信濃 守·木村摂 津守		戌5月		墨書			1枚

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-252	[海軍歴史資料 写]	小笠原嶋より罷帰候支配 向之者御目見之儀相願 候書付	井上信濃 守·木村摂 津守		戌4月		墨書			1枚
12-253	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	各国全図御買上之儀相 同候書付	井上信濃 守·木村摂 津守		酉11月		墨書			1枚
12-254	[海軍歴史資料 写]	朝陽丸御船御修復之儀 二付申上候書付	御軍艦奉行				墨書			1枚
12-255	[海軍歴史資料 写]	內海弐番六番御台場附 押送形御船弐艘御製造 御入用之儀相伺候書付			子8月		墨書			1枚
12-256	[海軍歴史資料 写]	御船附職人御手当之義 二付申上候書付			午6月		墨書			1枚
12-257	[海軍歴史資料 写]	千代田形御船之義二付 申上候書付			亥12月		墨書			1枚
12-258	[海軍歴史資料 写]	[遅延相成り候ては気張を失い候につき軍艦製造 方へ振替申すべく相伺 候]			戌2月		墨書		前欠	1枚
<u>12-259</u>	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	和蘭国江御誂蒸気軍艦 製造中為研究被差遣候 時計師其外御手当之儀 二付相願候書付	井上信濃 守·木村摂 津守				墨書			1枚
12-260	[海軍歴史資料 写]	〔彼地へ精密の機械製作 方等を修行仕らせたく申 上候〕			戌5月		墨書		前欠	1枚
12-261	[海軍歴史資料 写]	和蘭陀国江被差遣候測 器師其外之義二付申上 候書付	井上信濃 守·木村摂 津守				墨書		後欠	1枚
12-262	[海軍歴史資料 写]	[測器師大野弥三郎を修業のため和蘭へ差遣わされたく相伺候]			戌5月		墨書		前欠	1枚

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-263	[海軍歴史資料 写]	松平越前守家来大野弥 三郎儀二付奉願候書付	井上信濃 守·木村摂 津守				墨書		後欠	1枚
12-264	[海軍歴史資料 写]	[秋葉銀之丞・桜井貞蔵 妹の縁組につき問合せ]			亥2月		墨書			1枚
12-265	[海軍歴史資料 写]	「桜井貞蔵家族を由緒の 地へ差遣わし候間御代 官へ御達しくだされたく御 通し申し候」			亥3月		墨書			1枚
12-266	[海軍歴史資料 写]	返地仕候儀申上候書付	桜井貞蔵		亥7月		墨書			1枚
12-267	[海軍歴史資料 写]	支配向之者家族立退方 之儀申上候書付	御軍艦奉行		亥3月		墨書			1枚
12-268	[海軍歴史資料 写]	借地住居之儀奉願候書 付	桜井貞蔵		亥7月		墨書			1枚
12-269	[海軍歴史資料 写]	「桜井貞蔵借地住宅につき掛合」	御軍艦奉行	戸田民部			墨書			1枚
12-270	[海軍歴史資料 写]	対馬表為御用被差遣侯 御軍艦取調役組頭其外 御切米取越之義申上候 書付	井上信濃 守·木村摂 津守		酉3月		墨書			1枚
12-271	[海軍歴史資料 写]	<u>縁組之儀奉願候書付</u>	桜井貞蔵		亥2月		墨書			1枚
12-272	[海軍歴史資料 写]	[未2月中内海御台場へ 御渡相成り候押送船寸 間]					墨書			1枚
12-273	[海軍歴史資料 写]	以書付奉願候(桜井貞蔵 妹縁組)	秋場八左衛 門		文久3年2月		墨書			1枚
12-274	[海軍歴史資料 写]	[別紙書面の通り立会相 止み相当につき諸御入 用受払は入念取締り取扱 い申すべく候]			辰1月		墨書			1枚
12-275	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	帆前船雛形据附方之儀 申上候書付	井上信濃 守·木村摂 津守		戌6月		墨書			1枚

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-276	<u>〔海軍歴史資料 写〕</u>	[米国より買上の製鉄機 械運送に相掛り候諸入用 につき取調書相添え御聴 きに入置き候]			子10月		墨書			1枚
12-277	[海軍歴史資料 写]	〔講武所修行人へ御渡し 相成り候小銃につき入箱 御渡し相成り候様仕りたく 内訳書相添え伺い候〕			酉8月		墨書			1枚
12-278	[海軍歴史資料 写]	<u>伊勢守殿御渡侯御書付</u> 写			酉10月		墨書			1綴
12-279	[海軍歴史資料 写]	成臨丸御船御修復為御 用浦賀表江罷越候者江 御手当之儀二付相願候 書付			子2月		墨書			1綴
12-280	[海軍歴史資料 写]	成臨丸御船御脩復遣松 良材伐出方之儀二付申 上候書付			子9月		墨書			1綴
12-281	[海軍歴史資料 写]	〔芸地引揚帰府致し候向 の道中人馬遣につき相触 れらるべく候〕			寅9月24日		墨書			1綴
12-282	[海軍歴史資料 写]	支配向之者引越料之儀 相願候書付			寅2月		墨書			1綴
12-283	[海軍歴史資料 写]	覚(日当御手当につき下知)・御軍艦組御雇之者 御船当番航海御用日当 御手当之儀相伺候書付			酉7月12日~戌		墨書			1綴
12-284	[海軍歴史資料 写]	船目録帳並船切手御取 役規則大概					墨書			1綴
12-285	[海軍歴史資料 写]	用二付陸路等放差道族 第 良くことはは水下物取	井上信濃 守•木村摂 津守				墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
12-286	[海軍歴史資料 写]	御軍艦頭取以下役々御 用二付陸路被差遣候節 業前二寄別段御手当被 下方取調帳	井上信濃 守·木村摂 津守				墨書			1綴
<u>13</u>	勝氏海軍塾蔵書目録				元治元年7月1日		墨書		旧目録に自 筆原本とあり	1冊
<u>14</u>	校正本 海軍括要 巻之二		勝海舟		慶応2年		印刷[活 版]·墨 書		旧目録に自 筆校正本と あり	1冊
<u>15</u>	海舟探報						墨書		旧目録に原 本とあり	1冊
<u>16</u>	海舟雑算									
<u>16-1</u>	海舟雑算	=					墨書			1∰
<u>16-2</u>	海舟雑算	<u></u>					墨書			1∰
<u>16-3</u>	海舟雑算	11]					墨書			1∰
<u>16-4</u>	海舟雑算	<u>m</u>					墨書			1∰
<u>16-5</u>	海舟雑算	五					墨書			1∰
<u>16-6</u>	海舟雑算	六					墨書			1∰
<u>17</u>	吹塵録資料 他									
<u>17-1</u>	吹塵録資料 他	二条米蔵出納帳(寛政元 生)					墨書			1綴
<u>17-2</u>	吹塵録資料 他	浅草本所米蔵出納帳(天 保13年)					墨書			1綴
<u>17-3</u>	吹塵録資料 他	慶長以来御造営並御料 地の記					墨書			1綴
<u>17-4</u>	吹塵録資料 他	<u>〔御実記慶長10年まで抜</u> <u>書〕</u>					墨書			1枚

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>17-5</u>	吹塵録資料 他	<ul><li>【禁裏御料石高等の変 遷】</li></ul>					墨書			1綴
<u>17-6</u>	吹塵録資料 他	皇室之部•江戸部					墨書			1綴
<u>17-7</u>	吹塵録資料 他	御勘定奉行支配御普請 役詰所之留記 郡名称呼					墨書			1綴
<u>17-8</u>	吹塵録資料 他	御勘定所掛分					墨書			1綴
<u>17-9</u>	吹塵録資料 他	村々貯米の事					墨書			1綴
<u>17-10</u>	吹塵録資料 他	徳川家領国の事					墨書			1綴
<u>17-11</u>	吹塵録資料 他	万石以下知行の事					墨書			1綴
<u>17-12</u>	吹塵録資料 他	幕府領国の部 代官論					墨書			1綴
<u>17-13</u>	吹塵録資料 他	寛文度炎上御造営並御 譲位御受禅御料地等の 記					墨書			1綴
<u>17-14</u>	吹塵録資料 他	<u>承応度炎上並御造営の</u> 記					墨書			1綴
<u>17-15</u>	吹塵録資料 他	金銀銭勘定帳					墨書			1枚
<u>17-16</u>	吹塵録資料 他	子三月廿三日於御殿摂 津守申渡					墨書			1綴
<u>17-17</u>	吹塵録資料 他	経済雑纂第 編目録					墨書			1綴
<u>17-18</u>	吹塵録資料 他	万石以下蔵米取の事					墨書			1綴
<u>17-19</u>	吹塵録資料 他	日記(外国金銀其侭通用等)					墨書			1綴
<u>17-20</u>	吹塵録資料 他	[御触書等の綴り]					墨書			1綴
<u>17-21</u>	吹塵録資料 他	御勘定組頭石川壮次郎 手控写 米金類出入勘定 帳					墨書		「此書類十八 年正月三日 石川利行持 参之分」とあ り	1綴
<u>17-22</u>	吹塵録資料 他	[石川利行書簡]	〔石川利行〕	〔滝村小太郎〕	〔明治20年〕4月7日		墨書			1綴

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>17-23</u>	吹塵録資料 他	服部文一書簡 平岡準蔵	服部文一	平岡準蔵	〔明治20年〕10月21 日		墨書			1通
<u>17-24</u>	吹塵録資料 他	江戸大坂最寄及ひ飛地 之領分を徳川料所ト為ス ノ計画					墨書			1綴
<u>17-25</u>	吹塵録資料 他	御国籾大豆有高					墨書			1綴
<u>17-26</u>	吹塵録資料 他	徳川氏領国八百万旗本 下八万騎の説					墨書			1綴
<u>17-27</u>	吹塵録資料 他	<u>張紙直段</u>					墨書			1枚
<u>17-28</u>	吹塵録資料 他	幕府歳入歳出の概数					墨書			1枚
<u>17-29</u>	吹塵録資料 他	[御金渡の仕法]					墨書		前欠	1枚
<u>17-30</u>	吹塵録資料 他	御囲籾有高書付					墨書			1枚
<u>17-31</u>	吹塵録資料 他	<ul><li>「端銀両替時々相場を可用御書付写」</li></ul>					墨書		後欠	1枚
<u>17-32</u>	吹塵録資料 他	御国高調郷帳書出年代					墨書			1枚
<u>17-33</u>	吹塵録資料 他	天明七年万延元年比較 分限高					墨書			1綴
<u>17-34</u>	吹塵録資料 他	「慶応三年改革諸役人」 場所高ヲ廃左之通御役 金ニ直被下〕					墨書			1綴
<u>17-35</u>	吹塵録資料 他	慶応三卯年中布衣以上 御役人江御足高御役料 等被下候を廃し御役金被 下候書付					墨書			1綴
17-36	吹塵録資料 他	<u>寛政元酉文化元子文政</u> 元寅天保十三寅分限高					墨書	偶堂蔵罫 紙		1綴
17-37	吹塵録資料 他	<u>[鳥居甲斐守の勘定奉行御免]</u>			天保14年10月17日		墨書			1枚

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>17-38</u>	吹塵録資料 他	古銭之略記					墨書			1綴
<u>17-39</u>	吹塵録資料 他	[旧旗本朝臣被仰付の者 減高の評議につき取調]					墨書			1綴
<u>17-40</u>	吹塵録資料 他	[天保十三寅年元払差引 凡調·天保度五ヶ年平均 差引之事·天保十二丑年 納払]					墨書			1綴
<u>17-41</u>	吹塵録資料 他	<u>[天保十三寅年差引の</u> 事]					墨書			1枚
<u>17-42</u>	吹塵録資料 他	[天明寛政両度の倹約時 期]					墨書			1枚
<u>17-43</u>	吹塵録資料 他	[寛政度の倹約時期]					墨書			1枚
<u>17-44</u>	吹塵録資料 他	通貨之部(表紙のみ)					墨書			1枚
<u>17-45</u>	吹塵録資料 他	江戸金蔵出納表					墨書			1綴
<u>17-46</u>	吹塵録資料 他	奥向其外定額					墨書			1枚
<u>17-47</u>	吹塵録資料 他	年々正月万石以下へ授 与する時服之数					墨書			1枚
<u>17-48</u>	吹塵録資料 他	[大炊頭殿御渡書付写]			天保14年12月21日		墨書			1綴
<u>17-49</u>	吹塵録資料 他	[寛政五丑年差引の事]					墨書			1枚
<u>17-50</u>	吹塵録資料 他	<u>枡定価</u>					墨書			1枚
<u>17-51</u>	吹塵録資料 他	〔老中書付写〕			天保7年8月21日		墨書			1綴
17-52	吹塵録資料 他	遠国小役人引越二付拝 借金之定					墨書			1綴
<u>17-53</u>	吹塵録資料 他	<u>巻物之方</u>					墨書			1綴
17-54	吹塵録資料 他	三季御張紙直段	御勝手方渡 方掛				墨書			1綴

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>17-55</u>	吹塵録資料 他	口達(貨幣偽造の儀は国 家の大禁)					墨書			1綴
<u>17-56</u>	吹塵録資料 他	文久銭の記					墨書			1綴
<u>17-57</u>	吹塵録資料 他	履歴(石川利行)	石川利行		明治20年12月3日		墨書			1綴
<u>17-58</u>	吹塵録資料 他	[文久銭の筆写]					墨書			1綴
<u>17-59</u>	吹塵録資料 他	佐渡金銀部其外金銀山					墨書			1綴
<u>17-60</u>	吹塵録資料 他	金銀之部					墨書			1綴
<u>17-61</u>	吹塵録資料 他	正徳年間金銀之事二付 御触					墨書			1綴
<u>17-62</u>	吹塵録資料 他	[周防守御渡書付写]			天保5年5月21日		墨書			1綴
<u>17-63</u>	吹塵録資料 他	[出羽守御渡書付写]			天保4年12月16日		墨書			1綴
<u>18</u>	本邦古来通貨小記 海舟 翁自筆草稿		〔勝海舟〕				墨書		旧目録に自 筆草稿とあり	1冊
<u>19</u>	経済雑纂 海舟翁稿本		〔勝海舟〕		明治20年		墨書		旧目録に草 稿とあり	1∰
<u>20</u>	まがきのいばら 全		〔勝海舟〕		〔万延元年〕		墨書		旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>21</u>	<u>亡友帖 漢訳 黎氏跋</u> 全		〔勝海舟〕		明治10年		墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に原 本とあり	1∰
22	亡友帖 浄写稿本		〔勝海舟〕		明治10年		墨書		旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>23</u>	<u>亡友帖</u>		〔勝海舟〕		明治10年		印刷			1∰
24	断腸之記		勝海舟[著] ; 杉原謙 [写]				墨書		旧目録に写本とあり	1∰
<u>25</u>	断腸之記 附詩歌		勝海舟[著] ; 輿論社 [刊]		明治21年10月22日	_	印刷[活 版]			1∰

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>26</u>	外交餘勢・断腸記 漢訳									
<u>26-1</u>	外交餘勢・断腸記 漢訳	[海舟自署名の原本]	李鴻章序 文·黎庶昌 跋文				墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>26-2</u>	<u>外交餘勢·断腸記 漢訳</u>	<u>〔副本〕</u>					墨書	海舟書屋 用箋	旧目録に副 本とあり	1∰
<u>27</u>	追賛一話 草稿		勝海舟[著] ; 徳富蘇峰 ; 人見一太 郎[筆記]				墨書		旧目録に草稿とあり	1∰
<u>28</u>	追賛一話 中浄書		〔勝海舟〕				墨書		旧目録に中 浄写稿本と あり	1∰
<u>29</u>	追賛一話									
<u>29-1</u>	<u>追賛一話</u>	<u>〔漢訳〕</u>	〔勝海舟〕				墨書		旧目録に浄 書稿本・未刊 本及中浄書 本とあり	1∰
<u>29-2</u>	<u>追賛一話</u>	[博文館版]	勝海舟[著] ;福田敬業 [編];博文 館[刊]		明治23年8月15日		印刷[活 版]	海舟書屋 蔵用箋	明治24年7月 10日再版	1∰
<u>30</u>	追賛一話 漢文 全		〔勝海舟〕				墨書		旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>31</u>	<u>幕府始末</u>		勝海舟		明治27年10月		墨書		旧目録に浄 書稿本とあり	1∰
<u>32</u>	<u>鶏肋</u>		勝海舟[著] ; 春陽舎 [刊]		明治30年9月4日		印刷[活 版]			1∰
<u>33</u>	明治二年上書		勝海舟		明治2年		墨書		旧目録に自 筆草稿とあり	1巻

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>34</u>	旧記雑感・旧幕戝政小記		勝海舟				墨書		旧目録に自 筆草稿とあり	1巻
<u>35</u>	<u>民間有志小伝</u>		勝海舟				墨書		旧目録に自 筆草稿とあり	1巻
<u>36</u>	岡田氏遺筺 海舟先生手 翰 全						墨書			1冊
<u>37</u>	勝海舟書簡									
<u>37-1</u>	勝海舟書簡	日付不明書簡 河田宛	勝海舟	河田		一昨年中に陸軍省より 御達の件	墨書			1通
<u>37-2</u>	勝海舟書簡	2月7日付書簡 須川ヵ	勝海舟	須川ヵ	2月7日		墨書			1通
<u>38</u>	海舟伯遺墨						墨書			1∰
<u>39</u>	海舟先生遺墨						墨書			1巻
<u>40</u>	<u>維書類</u>									
40-1	<u>維書類</u>	<u>シヤノワヌ書簡 勝海舟</u> 宛	シヤノワヌ	勝海舟	1868年2月22日(和 暦1月28日)	仏国政府書簡を訳して 申進す	墨書			1綴
40-2	<u>維書類</u>	呈吾盟藩主於英仏魯都 而取替たる覚書表					墨書		後欠	2枚
<u>40-3</u>	<u>維書類</u>	亡友帖(草稿)					墨書			1枚
<u>40-4</u>	<u>維書類</u>	蝶か荘子か荘子か蝶か					墨書			1枚
40-5	<u>維書類</u>	[京都にて手負い帰り下 谷松平にて療治の者]					墨書			1枚
<u>40-6</u>	<u>維書類</u>	〔札〕 (「海軍創立以来之 文書入」とあり)					墨書			1枚
40-7	維書類	<ul><li>「勝小鹿より差越し候米国海軍校における試験表訳文等を親許へ回付す」</li></ul>	河村純義 (海軍大輔)		明治10年1月17日		墨書	東京府用		1点

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
40-8	<u>維書類</u>	<u>死</u>	海軍兵学寮	勝海舟	9月8日	借用中の海軍歴史3冊 のうち2冊返上す	墨書	海軍兵学 寮用箋		1点
40-9	<u>維書類</u>	志川義為書簡 勝海舟 宛	志川義為 (開拓使士 族)	勝海舟	明治9年1月20日	別紙の通り海軍省より東京府への達を呈上す	墨書			1点
40-10	<u>雑書類</u>	[茶道具目録]					墨書			1点
40-11	<u>雑書類</u>	毎月諸入用定額					墨書			1点
40-12	<u>維書類</u>	[京都にて手負い帰り医 学館に入寮の者]					墨書			1枚
40-13	雑書類	八愚歌	兵原真逸		辛巳9月晦日		墨書			1点
40-14	<u>維書類</u>	[国会論につき意見]					墨書			1点
<u>40-15</u>	<u>維書類</u>	[勝海舟肖像画]					印刷			1点
40-16	<u>維書類</u>	荒地引高書付					墨書			1点
40-17	<u>維書類</u>	<u>〔封筒のみ〕</u>	福井県			福井県知事石黒務君持 参昔日之秘書写とあり	墨書			1点
<u>41</u>	流芳遺墨				明治23年		印刷			1∰
<u>42</u>	海舟戲墨						墨書			1枚
<u>43</u>	海舟自画賛						墨書			1枚
<u>44</u>	[海舟印譜]						墨書			1∰
<u>45</u>	[勝海舟親類書断簡]						墨書			9枚
<u>46</u>	府城沿革									
<u>46-1</u>	府城沿革		勝海舟[著] ; 木村芥舟 [筆]		明治23年12月	江戸城創始 附太田道 灌之事	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰
<u>46-2</u>	<u>府城沿革</u>		〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	三都城其他由来之事	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>46-3</u>	<u>府城沿革</u>	11.	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	三都城其他由来之事	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰
<u>46-4</u>	<u>府城沿革</u>	<u>m</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	城郭修築之事 一	墨書		旧目録に稿 本とあり	1∰
<u>46-5</u>	<u>府城沿革</u>	<u>五</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	城郭修築之事 二	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
<u>46-6</u>	<u>府城沿革</u>	六	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	土地計画之事 一	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-7	<u>府城沿革</u>	<u>七</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	土地計画之事 二	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰
<u>46-8</u>	<u>府城沿革</u>	<u>/\</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	土地計画之事 三	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
<u>46-9</u>	<u>府城沿革</u>	九	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	風俗変遷之事 一	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-10	<u>府城沿革</u>	土	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	風俗変遷之事 二	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰
46-11	<u>府城沿革</u>	<u>+</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	礼制儀注之事 一	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰
46-12	<u>府城沿革</u>	<u>+=</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	礼制儀注之事 二	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
46-13	<u>府城沿革</u>	<u>+=</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	礼制儀注之事 三	墨書		旧目録に稿本とあり	1冊
46-14	<u>府城沿革</u>	十四	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	礼制儀注之事 四	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-15	<u>府城沿革</u>	<u> 十五</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	礼制儀注之事 六	墨書		内題では十 六巻、旧目 録に稿本と あり 内題では十	1冊
46-16	<u>府城沿革</u>	土六	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	〔礼制儀注之事〕	墨書		内題では十 四巻、旧目 録に稿本と あり	1冊
46-17	<u>府城沿革</u>	<u>+七</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	法律禁令之事 一	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-18	<u>府城沿革</u>	<u>+八</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	法律禁令之事 二	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰
46-19	<u>府城沿革</u>	<u>+九</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	法律禁令之事 三	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-20	<u>府城沿革</u>	<u>=+</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	職官制置之事 一	墨書		旧目録に稿本とあり	1冊
46-21	<u>府城沿革</u>	<u>#</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	職官制置之事 二	墨書		旧目録に稿本とあり	1∰
46-22	<u>府城沿革</u>	<u>#=</u>	〔勝海舟 [著];木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	寺社制規之事 一	墨書		旧目録に稿本とあり	1冊

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
46-23	<u>府城沿革</u>	<u>#=</u>	〔勝海舟 [著] ; 木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	寺社制規之事 二	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-24	<u>府城沿革</u>	<u> </u>	〔勝海舟 [著] ; 木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	関津駅伝之事 一	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-25	<u>府城沿革</u>	<u> </u>	〔勝海舟 [著] ; 木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	器物名称之事	墨書		旧目録に稿 本とあり	1∰
46-26	<u>府城沿革</u>	<u> </u>	〔勝海舟 [著] ; 木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	雑則 一	墨書		旧目録に稿 本とあり	1∰
46-27	<u>府城沿革</u>	<u>#七</u>	〔勝海舟 [著] ; 木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	雑則 二	墨書		旧目録に稿 本とあり	1∰
46-28	<u>府城沿革</u>	<u> </u>	〔勝海舟 [著] ; 木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	雑則 三	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-29	<u>府城沿革</u>	<u> </u>	〔勝海舟 [著] ; 木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	雑則 四	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
46-30	<u>府城沿革</u>	<u>#</u>	〔勝海舟 [著] ; 木村 芥舟[筆]〕		〔明治23年12月〕	雑則 五	墨書		旧目録に稿 本とあり	1冊
<u>47</u>	松平春岳書簡 勝海舟宛									
<u>47-0</u>	松平春岳書簡 勝海舟宛	[表紙]								1巻
47-1	松平春岳書簡 勝海舟宛	松平春岳書簡 勝海舟宛 文久3年9月付	松平春岳	勝海舟	文久3年9月		墨書			1通
<u>47-2</u>	松平春岳書簡 勝海舟宛	松平春岳書簡 勝海舟宛 10月12日付	松平春岳	勝海舟	10月12日		墨書			1通

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
47-3	松平春岳書簡 勝海舟宛	松平春岳書簡 勝海舟宛 2月付	松平春岳	勝海舟	2月		墨書			1通
<u>47-4</u>	松平春岳書簡 勝海舟宛	松平春岳書簡 勝海舟宛 1月19日付	松平春岳	勝海舟	1月19日		墨書			1通
<u>48</u>	元田永孚書簡 勝海舟宛									
<u>48-0</u>	元田永孚書簡 勝海舟宛	[表紙]								1巻
<u>48-1</u>	元田永孚書簡 勝海舟宛	元田永孚書簡 勝海舟宛 [明治22年]7月15日付	元田永孚	勝海舟	〔明治22年〕7月15 日	条約一条につき意見	墨書			1通
<u>48-2</u>	元田永孚書簡 勝海舟宛	元田永孚書簡 勝海舟宛 [明治22年]9月21日付	元田永孚	勝海舟	〔明治22年〕9月21 日	不幸なる条約は中止す べきところ着手に至らず 歯がゆい次第	墨書			1通
<u>48-3</u>	元田永孚書簡 勝海舟宛	元田永孚書簡 勝海舟宛 明治22年8月3日付	元田永孚	勝海舟	明治22年8月3日	近頃改正の紛議に苦慮 なされ御考案・御投示の 別冊を敬領、至極同感	墨書			1通
<u>48-4</u>	元田永孚書簡 勝海舟宛	元田永孚書簡 勝海舟宛 明治22年11月19日付	元田永孚	勝海舟	明治22年11月19日	世上は平穏になり安喜 するも善後の策の案労 に堪えず	墨書			1通
<u>48-5</u>	元田永孚書簡 勝海舟宛	元田永孚書簡 勝海舟宛 [明治22年]11月21日付	元田永孚	勝海舟	〔明治22年〕11月21 日	御意見に賛成、御内覧 に入れたし	墨書			1通
<u>49</u>	[和蘭別段風説書和解]				嘉永6年	海外新聞幷長崎魯船ノ 事ノ記	墨書		旧目録に写 本とあり	1冊
<u>50</u>	和蘭人風説書						墨書		旧目録に写 本・外題自筆 とあり	1冊
<u>51</u>	関東川々水源考 海舟翁 <u>手沢本</u>						墨書		旧目録に写 本・序文自筆 とあり	1冊
<u>52</u>	<u>海防衆説</u>						墨書		旧目録に写 本とあり	1冊

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>53</u>	<u>徂徠翁遺牘</u> 軍法不審 全		荻生徂徠 [著];高野 長英[写]				墨書		高野長英子 真筆とあり	1冊
<u>54</u>	<u>兵制全書</u>									
<u>54-1</u>	<u>兵制全書</u>	譜厄利亜国之部	[L.F.Geerli ng・ J.J.Urbain[ 著];高野 長英[訳]]				墨書		旧目録に写本とあり	1∰
<u>54-2</u>	<u>兵制全書</u>	譜厄利亜国之部	[L.F.Geerli ng・ J.J.Urbain[ 著];高野 長英[訳]]				墨書		旧目録に写本とあり	1∰
<u>55</u>	ゼーアルチルレリー(海上 砲術全書)									
<u>55-1</u>	ゼーアルチルレリー(海上 砲術全書)	<u> </u>	〔J. N. Calten 「著〕〕				墨書		旧目録に上 写本とあり	1冊
<u>55-2</u>	ゼーアルチルレリー(海上 砲術全書)	三~五	〔J. N. Calten 「著〕〕				墨書		旧目録に上 写本とあり	1冊
<u>55-3</u>	ゼーアルチルレリー(海上 砲術全書)	六~八	〔J. N. Calten 「著〕〕				墨書		旧目録に上 写本とあり	1冊
<u>55-4</u>	ゼーアルチルレリー(海上 砲術全書)	<u>九~十一</u>	〔J. N. Calten [著]〕				墨書		旧目録に上 写本とあり	1冊
<u>56</u>	海上砲術全書									
<u>56-1</u>	海上砲術全書	総目·凡例·巻之一	〔J. N. カル テン[著] ; 宇田川榕庵 [訳]〕		天保14年11月		墨書			1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>56-2</u>	海上砲術全書	<u> 巻之二・巻之三</u>	〔J. N. カル テン[著] ; 宇田川榕庵 [訳]〕		〔天保14年11月〕		墨書		のどの部分 に綴じ込ま れた紙片は 撮影せず	1∰
<u>56-3</u>	海上砲術全書	<u>巻之四·巻之五</u>	〔J. N. カル テン[著] ; 宇田川榕庵 [訳]〕		〔天保14年11月〕		墨			1∰
<u>57</u>	<u>三兵答古知幾</u>		[Heinrich von Brandt[著]; 高野長英 [訳]]				墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>58</u>	<u>煩礮用法</u>									
<u>58-1</u>	<u>煩礮用法</u>	<u>_</u>	ステルキ [刊] ; 杉田 信(成 卿)[訳]		〔弘化4年10月〕		墨書		南葵文庫ラベルあり	1∰
<u>58-2</u>	<u>煩礮用法</u>	<b></b>	ステルキ [刊] ; 杉田 信(成 卿)[訳]		〔弘化4年10月〕		墨書		南葵文庫ラベルあり	1冊
<u>58-3</u>	<u>煩礮用法</u>	正	ステルキ [刊] ; 杉田 信(成 卿)[訳]		〔弘化4年10月〕		墨書		南葵文庫ラベルあり	1冊
<u>59</u>	洋外螺械新篇 巻之二 全		〔ホイヘンス (Huygens, H.)[著]ヵ〕				墨書		旧目録に写本とあり	1冊
<u>60</u>	空気喞筒注水算要						墨書			1冊
<u>61</u>	運用約説						墨書			1冊
<u>62</u>	機関槓杵算記						墨書		旧目録に写本とあり	1冊

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>63</u>	火輪車運行術 全·蒸気 機関規則 全						墨書		旧目録に写 本とあり	1₩
<u>64</u>	保伊源斯蒸気舶比較表		保伊源斯 (Huygens, H.)[著]				墨書		旧目録に写本とあり	1冊
<u>65</u>	求力法論 全		与盤計意留 (John Keill) [著] ; 志筑 忠雄[訳]				墨書		旧目録に写本とあり	1∰
<u>66</u>	蒸気機械全書									
66-1	蒸気機械全書	<u>第一編</u>					墨書		旧目録に写本とあり	1冊
<u>66-2</u>	蒸気機械全書	<u>第二編</u>					墨書		旧目録に写 本とあり	1冊
<u>67</u>	蒸気書 全		保伊原斯 (Huygens, H.)[著]		1862年		墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>68</u>	蒸気機関 全·蒸気機関 源理 全						墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>69</u>	蒸気戦艦規則				1846年		墨書		旧目録に写本とあり	1₩
<u>70</u>	荷蘭国海軍所螺施汽機 学書		ホイケンス (Huygens, H.)[著]		1862年		墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>71</u>	螺施砲抄訳						墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>72</u>	<u>烙丸明辨 全</u>		ヒュキュヱニ ン[著]				墨書		旧目録に和 蘭写本とあり	1冊

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>73</u>	羅媽人欵状 全		嶋原佐章 [著]		安永7年		墨書		旧目録に絵 入上写本と あり	1∰
<u>74</u>	泰西保家必要勉強論		宮崎駿児				墨書			1冊
<u>75</u>	交隣提醒		雨森芳洲		享保13年		墨書	捜錦閣罫 紙	旧目録に絵 入精写本と あり	1冊
<u>76</u>	<u>答問十策</u>		亀井南溟				墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>77</u>	<u>鳥銃伝来集説 外</u>					鳥銃伝来集説·倭朝銃 炮来本記·鉄炮算術書· 阿蘭陀筒	墨書		旧目録に写本とあり	1冊
<u>78</u>	<u>検使階梯</u>		岡本長之		天保6年		墨書		後年の写 本、旧目録 に写本とあり	1冊
<u>79</u>	[鈴木重嶺書類]									
<u>79-1</u>	[鈴木重嶺書類]	心覚	〔鈴木重嶺〕				墨書		旧目録に原本とあり	1₩
<u>79-2</u>	[鈴木重嶺書類]	<u>書抜</u>	〔鈴木重嶺〕				墨書		旧目録に原本とあり	1∰
<u>80</u>	翠園雑録									
80-1	<u>翠園雑録</u>	六	鈴木重嶺				墨書		旧目録に写 本とあり	1冊
80-2	翠園雑録	<u>七</u>	鈴木重嶺				墨書		旧目録に写 本とあり	1₩
<u>81</u>	鵞毛筆餘 完		紫川道人 [編]				墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>82</u>	<u>雅俗混乗</u>						墨書		旧目録に精 写本とあり	1冊

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>83</u>	<u>瞽者之儀取調書 小俣景</u> <u>徳自筆草稿</u>		小俣景徳				墨書		旧目録に浄 書稿本とあり	1冊
<u>84</u>	<u>致高雑誌</u>		杉田玄瑞 [編];致高 館[蔵]				墨書		旧目録に原 本とあり	1∰
<u>85</u>	護国の後論		竹川竹斎				墨書		旧目録に自 筆原本とあり	1₩
<u>86</u>	蝦夷地御仕法愚意申上 候書付 全		高橋重賢				墨書		旧目録に自 筆原本とあり	1∰
<u>87</u>	<u>魯西亜志</u>		桂川甫周 [訳]				墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>88</u>	鎖国論訳例		エンゲルベ ルト・ケンフ ル (Engelbert Kaempfer) [著]; [志筑 忠雄[訳]]				墨書		旧目録に写本とあり	1∰
<u>89</u>	漂流記略		塩田須庵				墨書		旧目録に内田観写本とあり	1冊
<u>90</u>	大島友之允朝鮮問題意 見書		大島友之允 (宗対馬守 家来)		元治元年10月		墨書		旧目録に自 筆原本とあり	1冊
<u>91</u>	<u>〔出島明雅碑草稿〕</u>		大久保一翁		明治20年10月13日		墨書		旧目録に草 稿とあり	1枚
<u>92</u>	<u>御支配明細帳</u>						墨書		旧目録に原本とあり	1∰
<u>93</u>	<u>伝習人総名前席順</u>						墨書		旧目録に原 本とあり	1∰

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
94	<u>国字分名集</u>		文斎[写]		〔寛政11年〕		墨書		明治22年6月 写、旧目録 に写本とあり	1∰
<u>95</u>	<u>公雑志</u>									
<u>95-1</u>	<u>公雑志</u>	<u>(-)</u>				亜墨利加人取扱方	墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>95-2</u>	<u>公雑志</u>	(二)				十二月二日亜墨利加使 節江応接之趣	墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>95-3</u>	<u>公雑志</u>	<u>(=)</u>				安政4年阿蘭条約 他	墨書		旧目録に写本とあり	1∰
<u>95-4</u>	<u>公雑志</u>	<u>(M)</u>				亜墨利加使節応接の趣 他	墨書		旧目録に写本とあり	1∰
95-5	<u>公雑志</u>	(五)				阿蘭領事官御対話書	墨書		旧目録に写 本とあり	1冊
<u>95-6</u>	<u>公雑志</u>	(六)				十二月二日亜墨利加使 節差出候書付和解	墨書		旧目録に写本とあり	1冊
<u>95-7</u>	<u>公雑志</u>	(七)				亜米利加使節差出候書 付和解	墨書		旧目録に写本とあり	1冊
<u>95-8</u>	<u>公雑志</u>	<u>(八)</u>				別段風説書	墨書		旧目録に写本とあり	1∰
95-9	<u>公雑志</u>	[九]				魯西亜条約追加	墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>96</u>	<u>崎陽便覧</u> 向山誠斎自筆 写本		向山誠斎				墨書			1∰
<u>97</u>	丁未雑記		向山誠斎			心療類編	墨書	偶堂蔵罫 紙	旧目録に自 筆原本とあり	1∰
<u>98</u>	[外交関係雑書]									
98-1	[外交関係雑書]	英吉利国条約並税則					墨書		旧目録に写 本とあり	1∰

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
98-2	[外交関係雑書]	英仏魯於都府為取替候 覚書					墨書	金花堂罫紙	旧目録に写本とあり	1∰
<u>98-3</u>	<u>[外交関係雑書]</u>	下田魯船条約一件					墨書		六部之内、 旧目録に写 本とあり	1₩
98-4	[外交関係雑書]	葡国事情一件					墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>98-5</u>	[外交関係雑書]	[大津豊後守·水野筑後 守連名書簡写 他]					墨書		旧目録に写本とあり	1∰
99	[幕末諸雑記綴]									
99-1	[幕末諸雑記綴]	<u>(-)</u>					墨書			1綴
99-2	[幕末諸雑記綴]						墨書			1綴
100	東海道便覧		向山誠斎				墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
<u>101</u>	江戸城本丸絵図									
101-1	江戸城本丸絵図	御本丸御奥表 <u>壹寸系三</u> 分摠屋根絵図					墨書			1枚
101-2	江戸城本丸絵図	御本丸御奥表壹寸系惣 屋根絵図					墨書			1枚
102	御勘定格帳 四						墨書		四冊之内、 旧目録に写 本とあり	1∰
<u>103</u>	<u>御赦取調方書付</u>				享和3年		墨書		旧目録に原 本とあり	1∰
<u>104</u>	<u> 廻状控</u>									
104-1	<u>廻状控</u>	_			安政5年		墨書		旧目録に勝 家原本とあり	1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
104-2	<u>廻状控</u>	1_			安政6年		墨書		旧目録に勝 家原本とあり	1∰
<u>105</u>	御役人改帳				安政3年	南曲輪御番·御天守御 番·御会所詰御役人改 帳	墨書		旧目録に原 本とあり	1∰
<u>106</u>	[御触廻状控]									
106-1	〔御触廻状控〕	[—]					墨書		旧目録に原 本とあり。もと は紙縒りで 一括りにされ ていた。	1綴
106-2	[御触廻状控]	(二)					墨書		旧目録に原 本とあり	1綴
106-3	[御触廻状控]	( <u>=</u> )					墨書		旧目録に原 本とあり	1綴
106-4	[御触廻状控]	(四)					墨書		旧目録に原 本とあり	1綴
106-5	[御触廻状控]	[五]					墨書		旧目録に原 本とあり	1綴
106-6	[御触廻状控]	[六]					墨書		旧目録に原 本とあり	1綴
106-7	[御触廻状控]	(七)					墨書		旧目録に原 本とあり	1綴
106-8	[御触廻状控]	<u>(//)</u>				申渡(大坂御用)	墨書		旧目録に原 本とあり	2枚
<u>107</u>	御所御賄向其外凡取調 書						墨書			1∰
<u>108</u>	近海御備向見分御用留									
108-1	近海御備向見分御用留	=	田付主計		嘉永3年		墨書		旧目録に原 本とあり	1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
108-2	近海御備向見分御用留	1.1	田付主計		嘉永3年		墨書		旧目録に原 本とあり	1∰
108-3	近海御備向見分御用留	11]	田付主計		嘉永3年		墨書		旧目録に原 本とあり	1冊
108-4	近海御備向見分御用留	<u>m</u>	田付主計		嘉永3年		墨書		旧目録に原 本とあり	1∰
109	地方御勘定帳				天保9年		墨書	金清堂罫紙	旧目録に写 本とあり	1∰
110	不正之唐物取扱候御仕 置				享和3年		墨書		旧目録に原 本とあり	1∰
111	<u>御普請積方定法</u>						墨書		旧目録に写 本とあり	1∰
112	文久二年御書付並御沙 <u>太留 勝家原本</u>						墨書		旧目録に勝 家原本とあり	1∰
<u>113</u>	諸留									
<u>113-1</u>	<u>諸留</u>	<u>-</u>					墨書		神原徳彦印あり、旧目録に原本とあり	1冊
<u>113-2</u>	諸留	<u>_</u>					墨書		神原徳彦印あり、旧目録に原本とあり	1∰
<u>113-3</u>	諸留	三					墨書		神原徳彦印あり、旧目録に原本とあり	1∰
<u>113-4</u>	<u>諸留</u>	<u>m</u>					墨書		神原徳彦印あり、旧目録に原本とあり	1∰
<u>113-5</u>	諸留	五.					墨書		神原徳彦印あり、旧目録に原本とあり	1∰

請求 番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>114</u>	井上馨書簡 勝海舟宛									
114-1	井上馨書簡 勝海舟宛	<u>井上馨書簡 勝海舟宛</u> <u>6月12日付</u>	井上馨	勝海舟	6月12日		墨書			1通
114-2	井上馨書簡 勝海舟宛	井上馨書簡 勝海舟宛 4月4日付	井上馨	勝海舟	4月4日		墨書			1通
<u>115</u>	<u>Voorschrift op het</u> <u>Tirailleren</u>				1851年	散兵戦稿	~`>			1∰
<u>116</u>	Voorschrift betreffende de Wapens tot vervaardigen van patronen en de infanteris				1853年	陸軍省ノ命令デ出版歩 兵ノ巡邏・射撃ヲ行ウ為 兵器ニ関スル稿本	\\ \\			1∰
117	Over de bediening van Mortier van zo duim						ペン			1∰
<u>118</u>	Onderwijs in de beweging der lasten voor artilleristen					砲術ノ為命令ヲヨク行ウ コトノ指針	ペン			1∰
<u>119</u>	<u>Uittreksel uit het</u> <u>Reglement op de exercitië</u> <u>n der Artillerie</u>		f. p. sterk				<i>\\</i>			1∰
<u>120</u>	Bijdrage tot de kennis der Schroef stoomwerktuigen van de Nederlandsche marine. door					海軍蒸気船術書	\\ \\			1∰
<u>121</u>	Kommando-woorden, welke in het reglement op de exercitiën en manoeuvres der infanterie, enz. voorkomen.					歩兵その他で練兵二用 イル号令用語	~``			1∰
122	[蘭文法学習書]						ペン			1冊
<u>123</u>	[蘭文数学学習書]						ペン			1∰

請求番号	タイトル	巻次又は部編番号	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量
<u>124</u>	訳鍵(蘭和辞典)						印刷			1冊
<u>125</u>	和蘭辞彙						ペン			1∰
<u>126</u>	Inventaris van het schroefstoomschip Jedo						\ \			1∰
<u>127</u>	相番衆姓名高宿所付						墨書			1綴
<u>128</u>	性名書						墨書			1綴
<u>129</u>	茗渓風聞 十						墨書			1綴
<u>130</u>	長州軍隊之写						墨書			1綴
<u>131</u>	小楠横井先生年譜					横井小楠の年譜	墨書			1綴
<u>132</u>	<u>雑記</u>						墨書		「不羈斎図書記」(秋山不 羈斎)印あり	1綴
<u>133</u>	海舟日記抄									
<u>133-1</u>	海舟日記抄	_	〔勝海舟〕				墨書			1冊
<u>133-2</u>	海舟日記抄	1	〔勝海舟〕				墨書			1∰
<u>133-3</u>	海舟日記抄	11	〔勝海舟〕				墨書			1冊
<u>133-4</u>	海舟日記抄	<u>m</u>	〔勝海舟〕				墨書			1冊
<u>133-5</u>	海舟日記抄	<u>五</u>	〔勝海舟〕				墨書			1冊
<u>133-6</u>	海舟日記抄	六	〔勝海舟〕				墨書			1冊